

相談支援のねらいとその事業種別

障害者総合支援法では、「地域で安心して暮らせる共生社会を目指す」ための大きな柱として、相談支援の充実を挙げています。そのためには、乳幼児期から成人期までのそれぞれのライフステージを福祉、医療、教育など、地域の関係機関が連携を図りながら、貫いた切れ目のない支援を行うことが重要で、それを目指していると言えます。

相談支援事業とその内容

具体的には、平成二十四年四月から、支給決定の見直しにより、計画相談支援の対象が原則として障害者福祉サービスを利用して申請した障害者等へと拡大。このため、「支給決定」を受けると「サービス等利用計画」が必要になります。計画相談支援事業所を選び、契約して「サービス等利用計画作成」を依頼することになります。(グループフォかわちでも、「相談支援事業所グループフォ」を二十六年四月一日付で開設される予定です。)

相談支援の種別と内容

相談支援の種別	内容
障害者相談支援 (市町村の一般的な相談支援)	障害者等の福祉に関する様々な問題について障害者等からの相談に応じ、情報の提供や助言をはじめ、障害福祉サービスの利用支援、虐待の防止及びその早期発見のための関係機関との連絡調整、障害者の権利擁護のために必要な援助などを行う。
基本相談支援	障害者等の相談に応じ、必要な情報提供や助言、サービス利用の調整等を行う。
計画相談支援	(サービス利用支援) 障害者の利用する障害福祉サービスの内容等を定めた「サービス等利用計画」の作成を行う。 (継続サービス利用支援) サービスの利用開始後に、一定期間ごとにその利用状況が適切であるか検証し、必要に応じて計画の変更等を行う。
地域相談支援	(地域移行支援) 入所施設や精神科病院に入所・入院している障害者に対し、住居の確保や地域生活への移行に関する相談や援助を行う。 (地域定着支援) 居宅において単身等で生活をする障害者に対し、常時の連絡体制を確保して、相談や緊急時の対応などを行う。
障害児相談支援	(障害児支援利用援助) 障害児の通所サービスの利用に関する援助を行い、「障害児支援利用計画」の作成を行う。 (継続障害児支援利用援助) サービスの利用開始後に、一定期間ごとにその利用状況が適切であるか検証し、必要に応じて計画の変更等を行う。

新製品紹介コーナー

●コーヒーラスク 120円/5枚
ほろ苦くコーヒーの香りが絶妙!
コーヒー好きにはたまらないサクサクのラスクです。



●ベルト付きペンケース 1,200円
手帳が押さえられ、ボールペンやシャープペン等が入れられ便利です。

●ふくろうのバッジ 400円
「幸せ」や「はばたく」という意味があり、グループフォのキャラクターでもあります。

編集後記

月日が経つのは早いもので、東日本大震災から3年が経ちました。東北ではまだ復興の道半ばであることに胸が痛みます。最近では地震だけでなく、異常気象と言われる現象も頻繁に見られるようになってきました。栃木県内でも竜巻やゲリラ豪雨等があり、他人事ではなくなってきています。先日のグループフォの避難訓練では、消防署の立会いのもとで行われ高い評価を頂きました。利用者さんも災害時の避難への意識が高いことが窺えました。首都直下地震や東海地震等が危惧されていたり、2月の大雪や大震災から3年が経った今こそ、被害の記憶を風化させることなく、次にくる災害の為に日頃からの「備え」が必要ですね。今年も午年ということで、皆様にとって「無病息災」で何事も「ウマ」くいく年になることを願っております。「グループだより10号」が皆様のご理解とご協力で発行出来たことに感謝申し上げます。(高月)

グループだより



編集・発行
社会福祉法人
河内四つ葉会
グループフォかわち

〒329-1105
栃木県宇都宮市
中岡本町3178-3
TEL 028(673)0002
FAX 028(671)0785

障害者の人権擁護と「意志決定支援」

グループフォかわち施設長
峰 寛子

平成二十五年四月から「障害者総合支援法」が施行されました。その主な改正点については、理事長が述べている通りです。この他に、国は法制面からの整備を進めてきています。二十四年十月「障害者虐待防止法」施行、二十八年には「障害者差別解消法」が施行される予定です。

障害のある人が地域で安心して暮らせる社会の実現を目指して、障害のある人を取り巻く地域の人々、直接支援者となる家族、施設事業所の支援者が障害のある人の人権を守る事をしなければなりません。

支援の現場では、障害を持ちながらも、主体的に「生き生き」と生きていけるように。支援者は、障害の重い軽いを問わず、出来る限り本人の意思をくみ取るよう努力・支援する「自己決定の尊重」が重要です。しかし、知的障害者等は「自己決定すること」自体に支援が必要になります。このことを「意志決定支援」と言っています。そしてこのことは、社会生活、日常生活のあらゆる分野で必要になります。

行動障害を示す人への「意志決定支援」について、ある社会福祉法人の考え方が参考になります。①本人の周囲を傷つけてしまう行動障害を心の痛み(過去の辛かった思い)を本人が必死で訴えている行動として受け止める。②支援者が感じる痛みが、そのまま本人の痛みだと理解し慰める。③攻撃行動には此るのではなく、自分の痛さを伝えながら止める。「目には目を」という対応は不信感を募らせ逆効果。④心の奥にある本当の願いを感じ取り、本人との安心感による共感を大切にして信頼関係を作り、やがて本人自ら安定した主体を形成していくよう支援する。

意志決定支援の決め手は、「支援者との信頼関係」。障害者本人との心と心の共感関係に基づき、本人の安心感、信頼感が大切だと感じます。「意志決定支援」は障害者総合支援法では、障害福祉サービス、支援施設、相談支援において努力義務となりました。支援者の支援の質が問われます。「グループフォかわち」も利用者さん一人一人としっかり向き合っていきたいと思えます。



新年度を迎えるにあたって

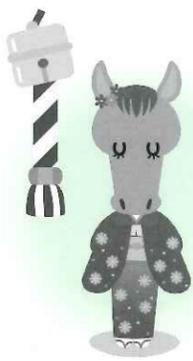
社会福祉法人河内四つ葉会理事長
濱 雅江

平成二十五年四月から「障害者総合支援法」がスタートしました。さまざまな課題の解決を見ながら制定された「障害者総合支援法」は、施設や利用される皆様に深くかかわる事柄で重要な法律です。

親亡き後の問題を考える時、グループホームへの二元化や重度訪問介護の見直し等、サービスの変更が見られました。その他にも、障害程度区分から障害支援区分となり、判定の聞き取り項目も「障害の特性に合わせる」としています。今回の制度改正も、地域移行を進める状況では必要不可欠でしょう。障害者本人が地域で生活する為の支援を、制度を活用して「何処」「誰と」生活するのか、誰からどのような支援を受けるのか、ライフステージに合わせて計画され、継続支援がなされるようになっていきます。河内四つ葉会でも、相談支援事業を開設出来るよう準備を進めているところです。

福祉サービスの制度は、内容も複雑で見直しのスピードも速く、中々身近に感じられませんが、地域で生活する為の支援が充実してきているのも事実です。

保護者の皆様も当事者として研修会等を開き、制度改正の内容を理解し、支援される側としての必要性に思いを寄せて頂きたいと願っております。



各授産報告



農園芸

二十五年度は新メンバーとして、中村拓磨さんが加わり、チームワーク良く毎日「元氣ハツラツ」作業しています。

今年度新しく取り組んだ作業に「カンセキ」様から、お花の「鉢寄せ植え」の委託作業を受注しました。また二度しか行っていないですが、地域のボランティアさんの協力を得ながら、きれいに寄せ植え作業をすることが出来ました。来年度も鉢寄せ植えの委託作業を通して、「グーフォ・かわち」や「農園芸グループ」のことを、地域の方々に知って頂けるようアピールしていきたいと思っています。

農園芸グループのメンバーは現在、男性十一名で取り組んでおり、個人の能力に合わせて年々作業スキルが上がってきています。特に野菜関係については、ここ数年の間で、色々な作業に取り組むことが出来るようになってきました。例えば、野菜収穫後の計量や袋入れ、切干大根作り等、利用者さんの無限の可能性と意欲に日々驚かされています。

来年度もどのような支援をしたら、利用者さんの持っている力を引き出すことが出来るのか努めてまいりたいと思います。また、地域の方々のご協力も頂きながら、生産した農産物を地域の方々へ感謝の気持ちを含めてお届け出来るよう、チームワークを大切にしながら楽しく、真剣に取り組んでいきたいと思えます。(草柳)

二十五年度もパングループにとっては、販路も拡大しても忙しい年となりました。忙しいということは、「グーフォのパン」が、地域や沢山の人達に愛されているということ、大変嬉しく思っております。地域行事等に参加させて頂くたびに、「今日はパンは無いの?」や「もう完売したの?」というお客様の声を聞くことが多くなりました。八年という時間をかけて、「グーフォブランド」の確立や「おいしい・安全・健康」をモットーに、皆が協力して頑張った結果だと感じています。

今年度は新しい職員が加わったり、新作のパンも増えたりと、利用者さんも「新しいことを頑張ろう」と、何にも積極的に取り組む姿勢が見られました。今年度は諸事情により、残念ながらクリスマスシーズンの「シュトレン」の販売を中止してしまいました。来年度は新しいアイデアでバージョンアップした「シュトレン」を販売していきたいと思っています。

来年度は、消費税率引き上げや材料等の値上げ等の問題がありますが、今年も職員、利用者さん共に、健康に気をつけながら不変のテーマでもある「おいしい・安全・健康」をモットーに、地域に愛されるパンを作っていきたいと思えます。(柴田)

パン



受注

二十五年度は、芝野奈緒さんが入所、早川翼職員が新たに加わり、職員と利用者さんが協力しながら作業を進めてきました。

「栄和産業」様や「カンテック」様より受注している「クボタ」関係の作業では、「正確さ」や「早さ」の両立を目指して作業を行ってきました。急な依頼にも対応出来るようになりました。



「久和物流様より受注している「マルハニチロ」のギフト用の箱折りは、利用者さんの特性に合わせて作業分担をすることで、正確で早い作業を実現することが出来、不良が殆ど出なくなりました。

「大同化工機工業」様より受注している、太陽光パネルの断熱材のテープ貼り作業では、受注量が増加する等、近年の自然エネルギー産業の活性化が、グーフォでも感じられる年でした。

また、今年度は「花楸産業」様と取引が開始されました。チラシ折や手袋の袋梱包作業を受注し、一人工程の作業を持つて行うことで、正確に数千単位での注文にも対応出来ました。

「オリシナルプリント」では、栃木県ジュニアソフトテニス連盟様から、大会で使用する「ポロシャツ」五〇〇枚程度の注文があり、毎日作成に追われる程、正に「嬉しい悲鳴」でした。

今年度の特徴として、夏季の作業閑散期にスキルアップのつととして、初めてピースを使いプレスレット等を作成しました。「グーフォ祭」で販売するという新たな試みにもチャレンジしました。利用者さんの個性が製品に反映され、売れ行きも好調でした。

来年度も各取引業者様との信頼関係を大切にしながら作業を行っていききたいと思えます。また、利用者さんが多くの作業に関わることで、グーフォでの生活に、「楽しみ」や「生きがい」が見出せるように支援していきたいと思っております。(柏崎)



織物

織物の新製品として、「ふくろうのバツジ」と「ベルト付きペンケース」を販売してきました。

「ふくろうのバツジ」は、「河内地区ふれあいまつり」で初めて販売しましたが、すぐに完売することが出来ました。

「ベルト付きペンケース」は、何度も試作を繰り返し、試行錯誤しながら現在の製品になりました。施設内販売では、好評を頂いております。

利用者さんの織りの技術は年々上達していますが、更なる向上を目指していかれたらと思っています。

二十五年度は、郊外訓練で「東京スカイツリー」や「葛西臨海水族園」の見学にあたり、体力強化の為、織物グループ全員で昼休みに散歩を始めました。郊外訓練後も昼休みの散歩は日課になり続けています。散歩は体力が強化されただけではなく、便秘が改善される等、想定外の成果も見られました。

織物グループのメンバーは、生活介護事業の所属でもあります。作業だけでなく、体調や情緒の安定、余暇活動の充実を図っていききたいと思えます。また、個々に合わせた支援を行うことで、作業や行事等に楽しく参加出来るよう取り組んでいきたいと思えます。(義煎)





グーフォ祭 華おとめの皆さんは、祭に元気と華やかさを添えてくれました。



グーフォ祭 USTの皆さんに若さ溢れるダンスを披露していただきました。



クリスマスコンサート 地域行事への参加。クリスマスの名曲を奏でました。



グーフォ祭 和太鼓キッズの皆さんには、勇壮・活発な演奏をしていただきました。



初詣 大吉かな？一年健康で過ごせますように。



誕生会 毎月の恒例行事！スイカ割りを皆で思う存分楽しみました。



もちつき・クリスマス会 よいしょ！おいしくなあれ～

「グーフォ・かわち」利用者トピックス

「わく・わくアートコンクール」inうつのみや2013

3名の方が入賞されました。
わく・わく賞：小池 遼史・濱 貴子・磯町 英司

第20回ふれあいボウリング大会

ノーギーター女子準優勝：渡辺 千春
ノーギーター女子 10位：芝野 奈緒
ノーギーター男子 34位：中村 拓磨
ノーギーター男子 45位：牛崎 伸也

今回のふれあいボウリング大会に参加したグーフォ代表の皆さん



☆☆☆25年度の行事 アラカルト☆☆☆

25年度行事一覧

4月 入所式・花見	11月 障害者文化祭
5月 かわちハートフル運動会	河内地区ふれあいまつり
6月 郊外訓練	日産労連クリスマスチャリティー公演
7月 プール活動・さき草の夕べ	12月 もちつき・クリスマス会
8月 買物学習	クリスマスコンサート
9月 うつのみやふれあい文化祭	1月 初詣・合同新年会
10月 第6回グーフォ祭	3月 ふれあいボウリング大会・まとめの会

※誕生会は毎月末に実施。



入所式 二人の新しい仲間が増えました。



さき草の夕べ いらっしやいませ～パンとジュースはいかがですか～



花見 外の風が気持ちいいね。でも、花よりだんご!!



買物学習 ちょっとひと休み。次は何を見ようかな。



かわちハートフル運動会 牛崎さんの選手宣誓！緊張の一瞬です。参加者からは好評でした。



うつのみやふれあい文化祭 上手に踊れているでしょ!?



郊外訓練 スカイツリーは634m。すごく高かったよ!

グーフォ・かわち 保護者会より

今年もどうぞよろしく申し上げます。
 昨年の四月より、六名の役員の方の協力のもと会長を務めさせていただきました。二十五年度の継続事業は、無事終了することができました。これもひとえに地域の皆様、グーフォ・かわちの職員の皆様、そしてご協力いただいた保護者会の会員の日頃の協力と熱意のおかげと感謝申し上げます。
 二十六年度も、同様の事業は継続して行きますので、変わらぬご協力をよろしくお願い申し上げます。

以前から検討中のグループホーム・ケアホーム・ショートステイ等については、保護者全体の課題として、みんなでどんな協力体制をとっていくのかを話し合う機会を設けたいと思います。保護者が連携して声をあげていかないと次のステップへは進めません。皆様の温かいご指導とご支援をお願いします。

今年度はグループホームと入所施設の見学を行います。また、新企画として利用者と一緒に泊旅行をしたいと思っております。普段悩んでいること、親戚きあとのこと、利用している活動や支援サービスのこと等、情報交換をしたいと思っております。お父様方にも参加して頂き、ゆっくり飲みながら交流出来ればと考えています。

最後になりましたが、「グーフォ・かわち」の益々の繁栄と、皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

グーフォ・かわち 保護者会会長
 小池 由美子



25年度保護者会 活動一覽

- 奉仕活動
 - 産業祭販売・バザー
 - 味噌作り
 - グーフォ祭模擬店
 - 合同新年会
 - 他施設見学
- ※その他、施設行事に協賛しています。



保護者会役員会の様子。



保護者会役員の皆様。
今年度もお世話になりましたm()m



味噌作りでは手作業で仕込んで下さっています。



グーフォ祭の模擬店では、美味しい食事を提供して頂きました。



奉仕活動では、施設をピカピカにして頂きました。

日頃から「グーフォ・かわち」を支えて下さっている方々

ありがとうございました。

クラブ活動ボランティア

【音楽】

- 迎 岱子 さん
- 岡元 亜紀 さん

【フラダンス】

- 小林 和子 さん
- 櫻井須美子 さん

作業ボランティア

- さぎ草ボランティア さん
- 林田 国博 さん
- 竹内 祐介 さん
- 田中 正子 さん
- 福島 玲子 さん
- 松尾 史朗 さん
- 小室 京子 さん

パン販売ボランティア

- 小池由美子 さん
- 岩城久美子 さん
- 竹内 宝子 さん
- 見目 勝義 さん
- 薄井 朋子 さん
- 芝野 逸子 さん
- 西川 和代 さん
- 郷間 澄枝 さん

ボランティアさん募集中 (作業補助・パン販売)



利用者と一緒に作業をお手伝いして下さっている竹内さん。

「グーフォ・かわち」授産品及び販売場所のご紹介

パン販売先の紹介

- 宇都宮市役所(1FわくわくショップU前)
【月曜日】 10:15~13:30
- 河内地域自治センター・河内総合福祉センター
【水・金曜日】 12:00~
- 豊郷地区市民センター
【火・第2・第4木曜日】 11:00~13:00
- 国立病院機構宇都宮病院
【火・木曜日】 11:30~12:45
- JAうつのみや河内ふれあいショップ
【火・木・金曜日】 10:10~14:30

*その他イベントにも出品しています。
宇都宮市南図書館売店・福祉プラザ売店にて、「焼き菓子」も販売中!!

織物販売先の紹介

- ろまんちっく村
「あおぞら館」
- 宇都宮市南図書館
「売店」
- 宇都宮市役所
「わくわくショップU」
- 宮カフェ
~オリオン通り~
- 福祉プラザ
「1Fセルフセンター売店」

オリジナルプリント紹介

1枚から手軽に作れる、オリジナルプリントを作成しています。

Tシャツ	1,300円~
ポロシャツ	1,500円~
ベスト	1,850円~
ジャケット	2,000円~



お花プランターリース

詳細につきましては、園芸担当の草柳までお問い合わせ下さい。

